

再受験で
国公立大学
医学部に
合格する
究極の勉強法

長谷川 仁

----- はじめに -----

はじめまして。私は、文系学部卒業後、大学院等を経て国立大学医学部に入学しました。いわゆる医学部再受験での合格者です。

医学部受験の時には、数学・物理・化学などについて独学で勉強しました。受験の時には勉強のやり方がよくわからなかったのが、書店やインターネットでやり方を調べました。その時に気付いたのは、どうやって勉強したら良いかわかりやすく説明したものがあまりないということです。国公立医学部を目指しておられる方の中には同じように感じている方もいらっしゃると思います。

そこで、そういった方々のお役に立てればと思い、私なりの勉強法を紹介する本を書かせていただきました。この本で紹介した勉強法がベストの勉強法であるというつもりは全くありません。いろいろな方法がある中の1つの方法であると考えています。この本を参考にして、自分なりの

やり方を確立してください。読者の皆様の合格を祈念致します。

今回出版の機会をくださった株式会社エール出版社様には心より感謝しております。また、これまで私を指導してくださった先生方・先輩方・同級生・友人・後輩の皆様には御礼申し上げたいと思います。

最後に、これまで私を支えてくれた両親に深い感謝の気持ちを伝えたいと思います。

長谷川 仁

もくじ

はじめに 2

第1章 国公立大学医学部に絶対受かりたい人に贈る章!

☞ 医学部に合格するための5つのポイント 16

- ① 全国で考える 17
- ② 総合大学を志望校にする 17
- ③ 英語・数学を中心に勉強する 18
- ④ 2次中心に勉強する 18
- ⑤ 選択科目は自己に有利な科目を選択する 19

— 医学部合格への道 — 科目別勉強法

第2章 医学部合格への道 【英語編】

☞ 英語の勉強法 25

1. はじめに 25

- (1) 大学入試で問われているのは英語を使いこなす力である 25

もくじ

(2) まずは、最低限の文法知識をおさえよう 26

(3) 英文を読もう 27

2. 英文解釈の勉強法 29

(1) 教材について 29

(2) 音読をしよう 30

(3) 和訳を口で言おう 32

(4) 単語の勉強の仕方 40

3. 英作文の勉強法 43

4. リスニングの勉強法 45

5. まとめ 47

第3章 医学部合格への道 【数学編】

☞ 数学の勉強法 50

1. はじめに 50

2. I A の勉強法 52

- (1) はじめに 52

- (2) 基礎力をつける 52
- (3) 応用力をつける 57
- (4) まとめ 57
- 3. II B の勉強法 59
 - (1) はじめに 59
 - (2) 基礎力をつける 59
 - (3) 応用力をつける 61
 - (4) まとめ 61
- 4. III の勉強法 63
 - (1) はじめに 63
 - (2) 基礎力をつける 64
 - (3) 応用力をつける 64
 - (4) まとめ 65
- 5. センター対策 67
- 6. まとめ 69

第4章 医学部合格への道 【物理編】

- 物理の勉強法 72
 - 1. はじめに 72
 - ① 力学→電磁気→波動→熱力学→原子物理の順番で勉強する 73
 - ② 力学に時間をかける 73
 - ③ 基礎力をきっちり身につける 74
 - 2. 具体的勉強法 75
 - (1) 何をやればいいのか 75
 - (2) 基礎力をつける 75
 - (3) 『物理重要問題集』を解くための準備をする 76
 - (4) 応用力をつける 78
 - 3. 各分野について 80
 - (1) 力学 80
 - (2) 電磁気 82
 - (3) 波動 83

(4) 熱力学	84
(5) 原子物理について	85
4. センター対策について	86
5. まとめ	87

第5章 医学部合格への道 【化学編】

☞ 化学の勉強法	90
1. はじめに	90
2. 基礎力のつけ方	93
3. 応用力のつけ方	95
4. 各分野の勉強法	97
(1) 理論化学 (かつての化学Ⅱを除く)	97
(2) 理論化学 (かつての化学Ⅱ)	98
(3) 有機化学	99
(4) 無機化学	100
(5) 高分子	101

5. センター対策	102
6. まとめ	103

第6章 医学部合格への道 【国語編】

☞ 国語の勉強法	106
< 現代文の勉強法 >	108
1. はじめに	108
2. 基礎力をつける	108
3. 応用力をつける	109
4. センター直前の勉強法	110
5. まとめ	111
< 古文の勉強法 >	112
1. はじめに	112
2. 基礎力をつける	112
3. 応用力をつける	113
4. センター直前の勉強法	114

5. まとめ……………114

<漢文の勉強法>……………115

1. はじめに……………115

2. 基礎力をつける……………115

3. 応用力をつける……………116

4. センター直前の勉強法……………116

5. まとめ……………117

<国語・まとめ>……………118

第7章 医学部合格への道 【社会編】

社会の勉強法……………120

<科目選択について>……………120

<政経の勉強法>……………122

1. はじめに……………122

2. 基礎力をつける……………122

3. 応用力をつける……………124

4. センター直前の勉強法……………124

<倫理の勉強法>……………126

1. はじめに……………126

2. 基礎力をつける……………126

3. 応用力をつける……………127

4. センター直前の勉強法……………127

<社会・まとめ>……………128

第8章 医学部合格のための勉強計画

具体的な勉強計画の立て方……………130

① 基礎をきっちり固めること 130

② 2次中心にやる 131

③ センター前1か月程度はセンターに専念する 131

医学部合格までの参考書計画表

合格までの時期別勉強法……………134

1. 中学3年生まで……………134

2. 高校1年生 136

3. 高校2年生前半 137

4. 高校2年生後半 138

5. 高校3年生 4月～8月 140

6. 高校3年生 9月～12月中旬 142

7. センター試験1か月前 143

8. センター試験～2次試験 144

第9章 医学部に受かる模試の活用法

☞ 模試について 146

1. 記述型の模試を中心に受ける 148

2. すぐに復習する 151

3. 国語も受験する 154

4. まとめ 156

第10章 文系から再受験する場合の勉強法

☞ 文系から再受験する場合の勉強法 158

1. 英語・国語・社会について 159

2. 数学・理科について 159

3. 模試について 160

第11章 精神面の安定を保つ方法

☞ 精神面の安定を保つ方法 162

1. 睡眠時間を十分にとる 163

2. 休みをとる 163

3. 勉強する場所を複数確保する 164

最後に 165

☞ 参考 私が利用した参考書・問題集 166

第1章

国公立大学医学部
に絶対受かりたい
人に贈る章！

👉 医学部に合格するための 5つのポイント

◎医学部に合格するための5つのポイント

まず、国公立医学部に合格するための5つのポイントについて書きます。

私が考えるポイントは以下の5点です。

—医学部に合格するための5つのポイント—

- ① 全国どこにでも行く覚悟を持つ
- ② 総合大学を志望校にする
- ③ 英語・数学を中心に勉強する
- ④ 2次中心に勉強をする
- ⑤ 選択科目は自分に有利なものを選ぶ

順番に説明します。

① 全国で考える

まず、全国どこにでも行く覚悟を持ってください。国公立医学部の2次とセンター試験と面接などの比率・センターの各科目の配点は大学によって違います。したがって、自分に少しでも有利な大学に出願すれば合格可能性は確実に上がります。

そこで、医学部に合格するためには特定の地域にこだわらず、全国どこにでも行く覚悟を持ってください。

② 総合大学を志望校にする

国公立医学部の中には総合大学(法学部・工学部など様々な学部がある大学)と単科医科大学(医学部と少数の学部しかない大学)があります。

総合大学の問題はそれに適した参考書が多く、対策を立てやすいです。また、総合大学は数が多く問題傾向が似ています。そこで、志望校を変更したとしてもそれまでの勉

強が無駄になる確率が少ないです。したがって、総合大学の医学部を志望校にすることをおすすめします。

なお、総合大学の医学部の中には医学部独自の問題で入試が行われる大学があります。それらの大学については、単科医科大学に近いと考えてください。

③ 英語・数学を中心に勉強する

医学部受験において英語・数学は非常に大きな比重を占めています。英語・数学で高得点を取れば、他の受験生に大きな差をつけることができます。

また、特に数学が得意であれば、物理や化学などでもその強みを生かすことができ、物理・化学でも高得点を取ることが期待できます。したがって、英語・数学を中心に勉強するようにしてください。

④ 2次中心に勉強する

たしかに、医学部受験でセンター試験は非常に大きなウェイトを占めています。しかし、マーク式の問題を解くことによって身につけることができる能力は医学部入試で

要求されている能力のごく一部です。

マーク式試験の対策ばかりやっていると本当の実力が身につきません。その結果、センターでも高得点を取ることができなくなる可能性が高いです。

したがって、2次試験中心の対策をして、本物の実力を身につけてください。その上で、センター直前期には、センター対策に1か月程度専念して、2次にはあまり出ない分野の勉強やセンターの傾向に合わせる勉強をするようにしてください。

このようにすることにより、センターでも2次でも高得点を取ることが可能になり、高い確率で医学部に合格できるようになります。

⑤ 選択科目は自己に有利な科目を選択する

物理と生物では向いている人が違います。一般的には数学が得意な人は物理に向いていると思います。ただし、数学が得意だからといって、すべての人が物理を得意にしているわけではなく、苦手な人もいます。物理では数学で必要とされない現象をイメージする能力などが必要だからです。

一方、生物は暗記が得意な人に向いています。理科については、好きか嫌いかではなく、受験に有利かどうかで選択することをおすすめします。

また、社会については、以下の表のように科目間で大きな差があります。英語・数学・理科だけでなく、国語や小論文・面接対策までやる必要のある医学部受験では、社会にはあまり時間をかけることができません。社会についても、少しでも受験に有利な科目を選択するようにしてください。

各科目の量・高得点の取りやすさ

	量	高得点の取りやすさ
日本史	C	A ⁻
世界史	E	S
地理	C	B ⁻
倫理	A	B
政経	A	A ⁻
倫理政経	C	B
現社	A	B

※ S・A・A⁻・B・B⁻・C・D・E の評価です。左程、受験者に有利であることを表します。例えば、量については、S が最も少なく、E が最も多いことを表します。

※ 社会についてはセンター試験で選択できる科目が大学ごとに異なります。選択科目決定の際には、その科目で受験できることを募集要項等で十分に確認してください。

3. 勉強する場所を複数確保する

さらに、勉強する場所（できれば無料の場所）を複数確保するようにしてください。同じ場所で勉強し続けているとどんどんストレスがたまっていく場合があります。そこで、勉強場所を複数確保して、調子が出ない時は、場所を変えてみるなど、気分転換する工夫をしてみてください。県や市の図書館だけでなく、大学の図書館も一定の手続きをすれば利用できる場合があります。ホームページ等で調べてみてください。

最後に

これまで私なりの勉強法について書かせていただきました。この本の内容を参考にして自分なりの勉強法を確立していただければ幸いです。皆様が志望校に合格されることをお祈り申し上げます。最後まで読んでいただきありがとうございました。

長谷川 仁

参考 私が利用した参考書・問題集

あ	じ
『青チャート』	『システム英単語』
い	白
『岩波化学ライブラリー』	『白チャート』
う	せ
『合格る計算』	『セミナー化学』
『宇宙一わかりやすい高校化学』	『センター試験政治・経済集中講義 三訂版』
『宇宙一わかりやすい高校物理』	そ
え	た
『英単語ターゲット 1900』	『大学入試英語長文ハイパートレーニング超基礎編』
お	『大学入試亀田和久の理論化学が面白いほどわかる本』
『応用自在』	は
か	『バック・トゥー・ザ・フューチャー』
『解法の発想とルール』	ふ
『化学重要問題集』	『フォーカスゴールド』
『蔭山のセンター倫理 パワーアップ版』	『物理重要問題集』
き	『物理のエッセンス』
『黄チャート』	『ブルーバックス』
く	ま
『くもんの中学英文法』	『マーク式基礎問題集』
こ	『マーク式総合問題集』
『項羽と劉邦』	や
『高校英語入門』	『やっておきたい英語長文 300』
『古文上達基礎編 読解と演習 45』	『やっておきたい英語長文 500』
『古文入門 読解と演習 23』	り
『これでわかる数学』シリーズ	『良問の風』

■著者■

長谷川 仁 (はせがわ じん)

再受験で
国公立大学医学部に
合格する究極の勉強法

2017年10月20日 初版第1刷発行

著者 長谷川 仁

編集人 清水 智 則 発行所 エール出版社
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 2-12 信愛ビル 4 F
e-mail : info@yell-books.com

電話 03(3291)0306 FAX 03(3291)0310

*定価はカバーに表示してあります。

乱丁本・落丁本はおとりかえいたします。

© 禁無断転載

ISBN978-4-7539-3391-4